

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙 「みらい」
NO. 4245
22年4月26日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

4月29日と12月23日は 天皇誕生日だったけど？

おはようございます。

今週末からゴールデン・ウィークが始まる。コロナ禍、第七波が懸念されるが、国民は気分を開放を求めて、旅行の予定者は去年の二倍になるという。

ウィズ・コロナ意識か、コロナ禍三年目で、緊張感も当初より薄れているようだ。気がけたい。

そのゴールデン・ウィークの始まりの日、四月二十九日は、昭和天皇の誕生日であり、現在の昭和の日の祝日だが、私たちが遊びまわれる日ばかりではない、重たい歴史がある。ふりかえってみる。

一九四六（昭和二一）年四月二十九日、先の太平洋戦争犯罪を裁く、極東軍事裁判（東京裁判）の起訴が発表された。平和と人道に対する罪として、「国際法を侵犯して、（ドイツやイタリアとともに）数知れぬ人道に対する罪を犯した」と書かれ、A級戦犯二十八名が起訴されたのだ。

裁判は一年半続き、翌年の十一月十二日に判決が出て、A級戦犯（病死三人を除く）二十五人が有罪となり、七名の死刑が確定し、十二月三日に絞首刑が執行された。



だが、この判決の日に、ウェンズデー裁判長は「天皇の戦争責任」を明言したが、米国の戦争責任を不問としたため、十二月二日に天皇が米国大統領へ謝意を表した歴史もある。

この裁判の持つ意味は、起訴日の四月二十九日が昭和天皇の誕生日であり、絞首刑執行日の十二月二日も、平成天皇の誕生日であったことから、連合国による天皇制軍国主義への政治的報復であったとも語られる。

一方で、この裁判は、勝者が敗者を一方的に裁くという意見があり、戦争に人道上の罪が該当するの、など議論があった。

だが、当時の敗戦国のドイツでもニュルンベルグ裁判が行われ、人道上の罪が有罪とされていることから、その後の世界ではこれが定着し、以降の戦争でもいくつか適用されている。

そして現在のロシアによるウクライナ侵略戦争でも、国連総会は、戦争開始直後の三月二日に、緊急特別総会で、ロシアの非難決議を賛成一四一、反対五、棄権二十五カ国で可決した。



また、国際司法裁判所（ICJ）も三月十六日、オランダ・ハーグの法廷でロシアのウクライナ侵略に関する審理を開き、ロシアの侵攻を即時停止するよう命じた。

ロシアの侵略は、武力行使を禁じた国連憲章に違反し、非戦闘員への攻撃は、文民保護を定めたジュネーブ協定に違反することから、人道の罪にあたる」とされる。

しかし、ロシアは核を持ち、安保理の常任理事国であり、拒否権を持ち、国際刑事裁判所の人道の罪や戦争犯罪を裁くことを決めているローマ協定に未加入であり、これらに従わない態度だ。

このままでは大国の勝手気ままな世界（国連）となり、国連も崩壊するかもしれない。このような不条理な世界を変えるために、日本はたたかわなければならぬし、国内では私たちが平和と反戦を、とりわけ核戦争の危機に、声を上げ続け、たたかわなければならぬ。

一方、このウクライナ戦争を機に、極東の危機論や、日

本核保有論すら台頭してきていることをみれば、これは長崎の労働者・市民は許してはならない。

*** **

今度の日曜日は五月一日で第九三回メーデーだ。この日は日本や世界中で、働く人々が、労働者の祭典として祝う集会やデモを行う日だ。私たちがぜひこれに参加しよう。

日本のメーデーの歴史は古く、一〇二年前の一九二〇（大正九）年の五月二日（日曜日）に東京の上野公園に二十万人の労働者が集い、八時間労働制要求や日本軍のシベリアからの撤兵要求決議などを可決した。

当時、第一次大戦後の日本だが、ソ連に派兵し戦争をしており、このため米の値が上がり、コメ騒動へとつながる、いわゆる大正デモクラシー（民主化要求）の時代だった。

しかし以降の十一年間、戦争によるメーデー禁止の弾圧を経て、戦後の一九四六（昭和二十一年）五月二日、第九三回メーデーが、復活メーデーとして開かれた。



全国には二百万人の労働者・家族が参加し、東京では五十万人が参加した。

そのメーデーの決議文で「わが日本の労働者階級は十一年ぶりにメーデーに参加した。今日のメーデーこそ、日本に初めての自由を輝かすメーデーである」と高らかに宣言した。労働者が生きる権利とたたかう自由を獲得した瞬間だった。

以来、七十六年の今日、日本の労働者はいかほどの自由とたたかう権利を前進させてきたのだろうか。コロナ禍に集うメーデーで、これを考えながらデモに参加しよう。

第九三回メーデー。五月一日。

○、地区労、9時、五島町公園、デモ。中央公園へ。

○、県労連、9時45分、湊公園、パレードはない。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。
期間雇用社員希望者全員の正社員化を。めげず、均等待遇を。なぐさし差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！